



「地域計画の**実現**目指して」

～最小人数の事務局を救うのは委員！委員連携活動記録簿～

○月○日△△公民館
地域計画の実現に
向けた話合いに地
区担当委員と参加。
地域の参加者と今
後の農地集積につ
いての協議を共有。

項目番号 2-(2)-工

記入者名

全国農業委員会職員協議会 会長
京都府農業委員会職員研究会会長
農業者年金広域推進協力員

京丹波町農業委員会

専門幹 永武幸子



「農地なbeeくん」

①京丹波町の概要

明治22年の町村制施行時の9つの村が変遷を重ね、平成17年10月11日に丹波町・瑞穂町・和知町が合併し、京丹波町が誕生しました。

京都府のほぼ中央部にあたる丹波高原の由良川水系上流部に位置し、東は南丹市に、西は福知山市に、北は綾部市に、南は南丹市および兵庫県篠山市に接しています。

丹波高原にあって、長老ヶ岳(917m)のほか標高400mから600mの山々に囲まれ、南側の山地は分水嶺の一部を成しています。

古くから都と丹後・山陰地方を結ぶ交通の要衝として栄え、現在も京都縦貫自動車道(京都丹波道路)やJR山陰本線をはじめ、国道9号、27号、173号などが交わり、京阪神など大都市圏へ1時間台で移動できるなど、交通環境に恵まれた地域です。

町内には、塩谷古墳などの歴史的史跡や建造物も多く、最近では「映画のまち」として『本能寺ホテル』や『無限の住人』、『あの日オルガン』など映画のロケ地としても活用されています。

令和7年NHK大河ドラマ『べらぼう』第1話放送の冒頭、「明和の大火」シーンも京丹波町で撮影されました。エキストラとして住民も参加しています。



②京丹波町農業委員会の組織構成

◆農業委員 19名

(任期;令和6年2月11日~令和9年2月10日)

農地部会(10名)・農政部会(9名)・広報部会(兼務6名)

※地区連絡会にも所属

丹波地区連絡会(8名)・瑞穂地区連絡会(7名)・

和知地区連絡会(4名)

◆農地利用最適化推進委員 22名

(任期;令和6年2月16日~令和9年2月10日)

丹波地区連絡会(9名)・瑞穂地区連絡会(7名)・

和知地区連絡会(6名)

◆事務局 3名(事務局長・専門幹・会計年度任用職員)

京丹波町メモ①

- 総面積 303.09km²
(東京23区の半分の面積)
- 人口 12,328人
- 世帯数 6,070世帯
(令和7年2月1日現在)
- 高齢化率 44.5%

京丹波町メモ②

- 総農家数 1,000戸
- 農業就業者数 1,784人
- 耕地面積 1,570ha
- 気候 内陸性気候
(冬は日本海側気候の特徴)



京丹波町ブランド産品を
ふるさと納税で!

③京丹波町 4つの道の駅

1つのまちに道の駅が4つもあります、そこでしか体験できないことや限定のお土産も!!

道の駅 京丹波 味夢の里 「きょうたんば あじむのさと」



「京丹波 味夢の里」は、京都縦貫自動車道の京丹波PAとなっており、地元で採れた新鮮野菜のほか府内の特産品が置かれ、多くの買い物客でにぎわっています。

★全ての道の駅で、委員さんご自慢の野菜たちに出会えます！

道の駅 丹波マーケス 「たんば まーけす」



「丹波マーケス」は、専門店やフードコートをはじめ、京丹波町観光協会の案内所が設置されており、町の観光情報を幅広く発信しています。

道の駅 瑞穂の里さらびき 「みずほのさと さらびき」



「瑞穂の里さらびき」では、十割瑞穂そばが食べられます。そば好きにはたまらない一品となっています。

道の駅 和 「なごみ」



「和」では、鮎ガーデンが設置されており、夏にはバーベキューとともに鮎の塩焼きを食べることができます。

京丹波町で
「道の駅めぐり」をしよう!

④地域計画策定に向けた委員会活動の経過

④-1 地域計画策定に向けた委員会活動の経過

農業委員会事務局+京都府農業会議【現地推進役】

- 農地全筆調査と非農地判断の徹底依頼
- 地域計画と目標地図の素案づくり法令化の周知徹底

1) 総会、最適化推進会議

京力農場プラン(人・農地プラン)→地域計画
目標地図の素案づくり…農業委員会の業務として法令化

2) 現状把握の地図づくりの依頼(各担当地区)

年代別・作付別等→地図作成の練習と現状把握

委員活動【農業委員+農地利用最適化推進委員】

●農地全筆調査と非農地判断の実施

令和2年度から農地法の運用により全筆の農地について、利用状況調査と非農地判断を実施。
地域計画を意識した令和4年度は、農振農用地も対象とし「守るべき農地」を合言葉に一段となって取組みを実施。
令和5年度までの4年間で15,800筆500haを農地台帳から除外。

●地域計画と目標地図の素案づくり法令化の周知徹底

1) 地区連絡会開催(旧町単位3地区)の定例化

地区連絡会部会組織の発足…現地推進役のサポート

2) 現状把握の地図づくりの作成(各担当地区)

…年代別・作物別など様々

令和4年度～準備期間～
京力農場プランから地域計画へ
～目標地図素案づくり始動～!

コロナ感染症拡大防止対策
により総会の時間短縮
+
最適化推進会議の定例化
(総会前後の時間を活用)



農地部会では、農地利用状況調査で確認した懸念農地をピックアップ、農地パトロールを毎年実施

④-2 地域計画策定に向けた委員会活動の経過

京都府+京都府農業会議

- 4月1日 基盤法等関係法令の一部改正施行
「地域計画策定・実現の手引き」作成・配布
(100頁を超える関係法令を含む手引き
→京都府下の全委員と事務局員、町担当部局)

京都府農業会議【現地推進役】+農業委員会事務局

- 5月8日 「地域計画策定・実現の手引き」説明(全委員対象)
最適化推進会議で現地推進役から説明を実施。
…委員会としての方向確認や要望等意見交換により協議

農業委員会事務局

- ～19日 「第1期 地域計画策定に向けた委員活動の手引き」作成
委員要望により京丹波町版の作成(全体像、具体的な作成方法等明記)

京丹波町+農業委員会事務局+京都府農業会議【現地推進役】

- 5月24日 「地域計画にかかる調整会議」
「地域計画説明会」開催協議(参集範囲や資料内容ほか)。また、委員に求める目標地図等のかたちを委員会ですった資料により確認と共有を実施。

委員さんが手に取りにくい厚み…
法令までついてて親切なだけけど
何をどうすればよいか具体的には
判りにくい=全委員で同じ取り組み
を進めたいなあ(事務局)

手引き(黄色のファイル)のとおり全部するのは無理!無理!!
結局、委員として何をどうしたいの?具体的には委員間で統一した形を共有したい!
→「局長!いつものつくて」、町と委員会の役割はしっかり区別して!」…(委員)

④-3 地域計画策定に向けた委員会活動の経過

農業委員会事務局+京都府農業会議【現地推進役】

- 6月6日 「第1期 地域計画策定に向けた委員活動の手引き」
配布と説明会(全委員対象)に最適化推進会議で事務局から説明
…委員要望に対する解答、町との調整事項、工程表の再確認、
7月開催の「地域計画説明会」への出席依頼と意見交換
→具体例から現況地図を作ることを委員が確認、時期についても共有(最終目標12月末)

★「地域計画説明会」(7月開催)に対する委員からの前向きな意見・要望

まずは、集落ごとの現況地図作成のために当日配布するものに白地図と色鉛筆、必要事項(農家意向・中山間や多面の有無・農振農用地など)が書き込める**農地一覽表**も加えたら参加者と共有が図れる。

★町の役割・委員会の役割の明確化

京丹波町版は、やっぱり具体的!!
事務局説明でも
修正は可能と聞いたし、とにかくやってみよう!
農家組合長や関係者が集まるなら一覽表も配布したらどうかな(委員)

利用状況調査説明会の7/6に地図
配布予定だったけど地域計画説明
会で配布の方が話し合いの場では、
判りやすいはず…
間に合わすしかない!一覽表作成に
向けて打合せ開始!
(事務局)

関係機関と調整した京丹波町の考
方を簡潔に委員さんと共有!
委員改選(令和6年2月)も意識した
工程表作成で委員の目標も共有!



④-4 地域計画策定に向けた委員会活動の経過

令和5年度～7月～
京力農場プランから地域計画へ
～目標地図素案づくり始動～!



説明会の資料は、
「京丹波町版 委員活動の手引き」
を採用!!

京丹波町+農業委員会事務局+京都府【推進チーム】+京都府農業会議【現地推進役】

●7月3・4・7日 「地域計画説明会」開催

- ★旧町地区ごと3か所で開催(丹波・瑞穂・和知)
- ★参集範囲→区長(自治会)、農事組合長、中山間や多面の役員関係者、
農業委員、農地利用最適化推進委員
- ★内 容 1) 地域計画の概要 2) 目標地図の作成 3) 委員改選
4) 質疑応答、5) 計画地域(ブロック)ごとの話し合い

◎効果的のポイント

参集者は地域性を重視

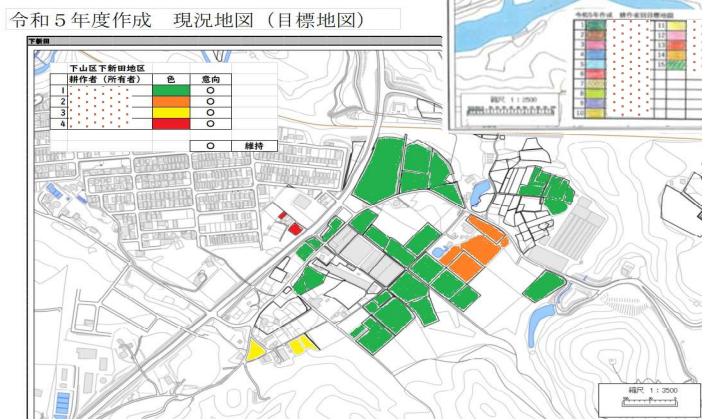
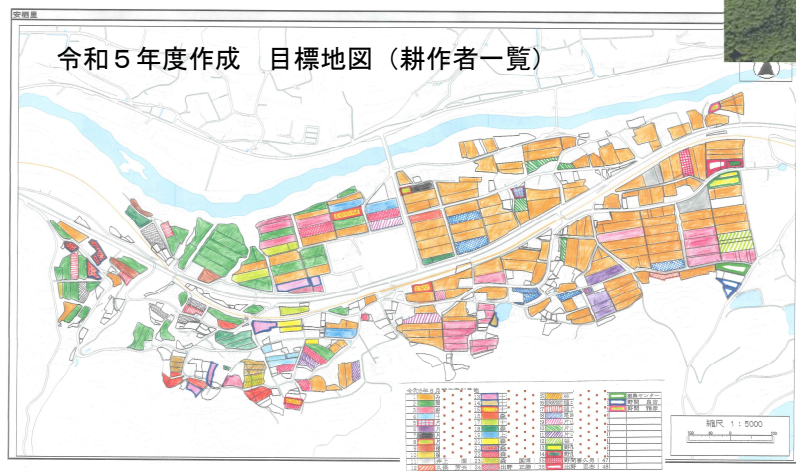
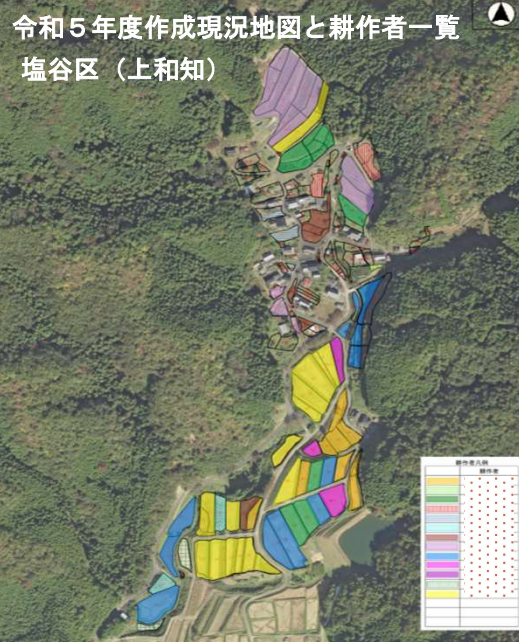
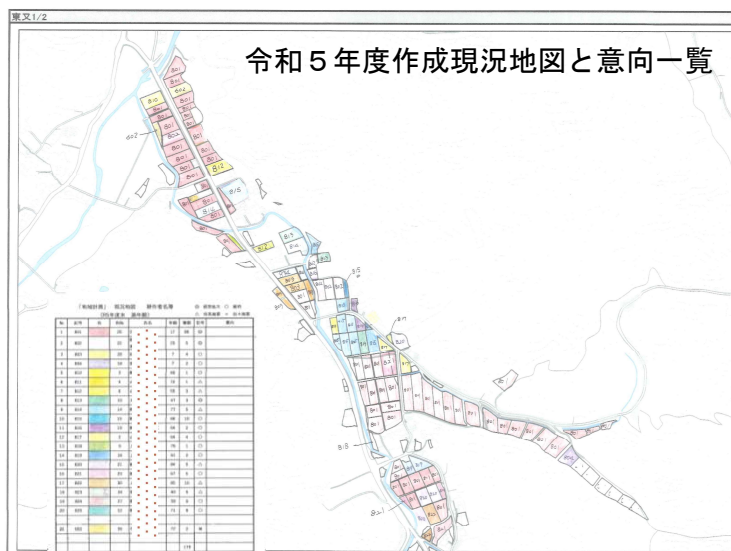
…計画地域ごとに異なるキーマン(あなたの地域は、農業委員?区長?農家組合長?役員?)
=地図作成の詳細説明等は、地域ごとに委員中心で進行、地域の協力体制強化(※行政の押しつけ)
最初にやるべきことを具体的に明示したこと(いつまでに何をやるのか)=12月末までの現況地図作成
=現況地図(耕作者と意向一覽表)の作成
…白地図(色鉛筆)と一覽表の配布により、視覚的にも訴えることで理解が得られた
計画地域ごとの集まる時間を重要視
=計画範囲により初顔合わせの人が話し合う場(=機会)を提供
地域計画ごとのグループ数に対応可能な説明者側の人数(8名)

どの地域も、委員さんが中心となり、
現況地図作成に向けた方向付け
が完了!!
委員さんが地元の不平をみごとに
说得!
判りになるのは、やはり委員さん!!
(事務局)

⑤町内全域 集落単位で現況地図が完成!集落の話合い深まる!…令和5年12月末時点

現況地図の提出…目標地図完成の区も!

～担当地区の現況地図(目標地図)と一覧表完成～



⑥第7期委員で目標地図素案完成を目指す



第7期委員活動
地域計画策定へのステップ
～委員の役割を共有し、地域の目標
地図素案を完成しよう！～

①委員の役割と担当地域の状況把握に向けて

【最適化推進全体会議による共有】

R6.3 第6期全委員作成による引継書を確認（独自で引継ぎ会も開催）

京都府及び農業会議発行の「地域計画策定・実現の手引き」配布と説明…京都府農業会議現地推進役

R6.6 「地域計画策定に向けた委員活動の手引き2」（独自資料）による説明…事務局

②「地域計画説明会（町・農委連携開催）」への出席依頼と方向性の確認

R6.7 各地区説明会の日程報告と全委員の出席依頼

目標地図を全地域で作成できるよう意見交換

③「農地利用状況調査説明会」開催

R6.7 農地の利用状況把握のため、非農地判断対象地並びに遊休農地を含め、担当地区を確認すべく行うことを共有。

実施要領、報告書類、期間（7月9日～8月9日）、提出期限（8月31日）の確認。

農地法第30条に伴う法令業務であるため、所管する農地部会長から委員に依頼し、方法等詳細説明は事務局。

交代した22名の委員は初めてとなるため、共通認識の確認が必要なことから、独自資料も工夫。判断事例集や非農地の考え方を順次質疑対応しながら説明。

★「地域計画目標地図素案づくり」の前に委員が担当地区の農地把握を完了。

確認の際に意向を確認するなど、担当地域の農業委員・推進委員が連携し、地域の協力員とともに実施。

R6.9 調査結果を踏まえ、町内懸案農地について農地部会でパトロールを実施。解決に向けた協議を行う

④「最適化推進全体会議」を開催し全委員から進捗状況を報告

R6.10 集落単位の目標地図提出目標である10月末をまえに「最適化推進全体会議」で全委員が状況報告。情報共有を行うとともに先行する他地域に質問するなど積極的な意向を示す委員さん方が多数。

農地利用状況調査結果についても資料配布を行い、当初予定通り遊休農地緑区分（＝A判定）農地についての意向

調査を実施。農地法第32条に定める意向調査期間は10月8日～31日として委員手渡し（町内）・郵送（町外）で対応。

⑤11月総会で「令和6年度非農地判断」を実施、地域計画目標地図の精度を高める

R6.11 各委員の調査票を取りまとめ集計、令和6年度は1,211筆 364,417.53㎡を非農地判断実施

★各集落単位で作成した目標地図素案を農業委員・推進委員が連携し、地域計画ごとの目標地図として、12月末までの完成を目指し色や記号を調整することを確認。



⑦地域計画策定～令和6年全体説明会開催！委員活動が光る！

京丹波町＋農業委員会事務局＋京都府農業会議【現地推進役】

●7月29・31日、8月2日に開催

…10月末が目標！目標地図素案完成に向けた「地域計画説明会」開催

★旧町地区ごと3か所で開催（丹波・瑞穂・和知）

★参集範囲→区長（自治会）、農事組合長、中山間や多面の役員関係者など
集落で選出された最大4名と農業委員、農地利用最適化推進委員

★内 容 1) 地域計画の概要と現状の確認 2) 目標地図の作成について 3) 質疑応答
4) 計画地域〈ブロック〉ごとの話し合い

★配布物 農地一覧表（農振農用地・中山間・多面情報記載済）、白地図、色鉛筆

令和5年度作成現況地図＋地域計画ごとに重複する耕作者一覧表

令和6年7・8月

地域計画策定へのステップ
～目標地図素案を作って、地域計画
を策定しよう！～



町内全域で「目標地図の素案づくり」と「地域計画策定」の完成を目指す
★地域の話し合いが最重要



①農林振興課との事前調整

趣旨…地域計画の周知と情報共有
目標地図素案の作成期限
地域計画素案の確認時期

参集範囲…各集落4名と委員

役割分担…資料作成：農業委員会事務局
説明：農林振興課（町）
質疑：双方で対応

配布資料…周知すべきことの絞込み

★地域計画とは（概要）

新区長・新農家組合長対応

★目標地図作成のポイント

★委員説明資料（京丹波町版）

目標地図作成と利用権設定
の一本化（相対契約廃止）

★地域計画素案（記入例）

②どの地域も委員さんの活躍が光る！！説明会開催状況

地域計画ごとの話し合いでは、委員さんが中心になり地域の現状を説明、
地図作成の具体的な手順も提案し一緒につくろうと呼びかけ。目標地図を作成し
10月提出を目指すことを参加者で確認し共有した。（矢印が委員さん）

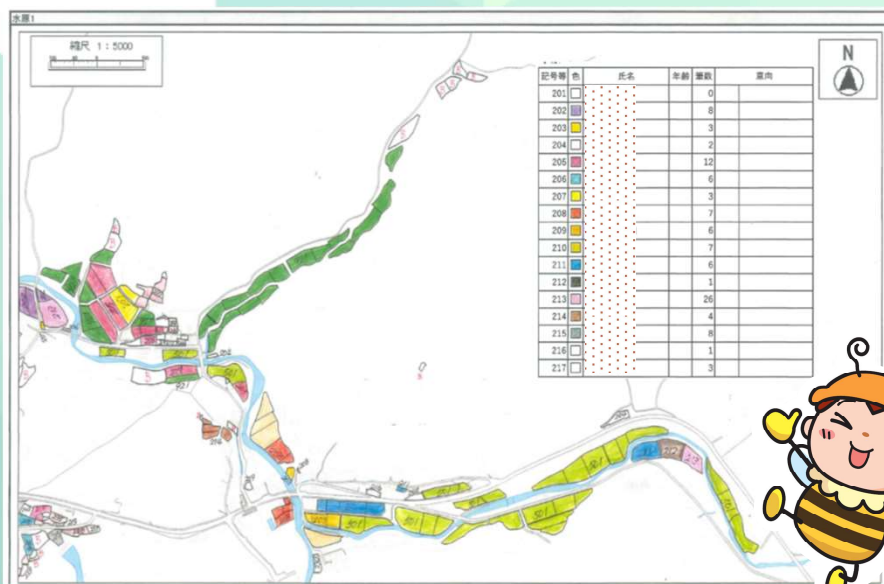


地域の農地を守るために一緒に
地域計画を完成しよう！
中山間に多面、農振も見直す時期
が同じになったし、考えてみよう。



●●委員

7



完成した目標地図の素案は、スキャナーで読み込み、すべて農林振興課(町)と共有。地域計画公表に向けて町とのキャッチボールが開始。

⑨キャッチボールで示す京丹波町農委の最適化活動＝活動記録簿の共有

活動記録簿提出状況が示す、委員活動（令和4年度・5年度）！6年度も継続中
～5年度は、22名の委員が交代！改選後も41人が毎月提出を達成！委員自身の整理から委員活動の周知・理解の浸透まで！

活動記録簿提出状況

令和4年度 委員提出総数 5,306枚 月平均 10.78枚を達成

R4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提出人数 (人)	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
提出枚数 (枚)	443	455	461	546	451	457	440	421	386	390	398	458

R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
提出人数 (人)	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
提出枚数 (枚)	498	466	459	518	500	443	440	431	429	438	407	448

令和5年度 委員提出総数 5,477枚 月平均 11.13枚を達成

メリット

○委員活動の見える化・・・委員の仕事に対する周知と理解の浸透

委員会内外→報酬改定実現

○委員活動の整理・・・個々の活動メモ（地区状況の把握）

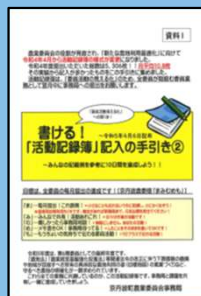
様々な根拠としての活用が可能

活動の状況把握（自他）

○委員活動の意識高揚と積極的な活動への展開

○国が定める点検評価のスムーズな実施＝事務局との共有

○交付金の活用が可能＝最適化交付金（増額）・・・委員活動実績重視



1 推進委員等による最適化活動の実施状況及び点検・評価

担当区域： 丹波地区

第6期（R5.4～R6.1分10カ月）

第7期（R6.2～R6.3分2カ月）

委員の別： 農業委員8名(2名文替)、推進委員9名(7名文替)

強化月間活動	5・6月	13	9・10月	16	11・12月	15	(単位：人)
					1月	15	

委員数： 17名

別紙様式3

活動強化月間

(1) 最適化活動の実施状況

月	活動日数 2-⑤3-④も 含めて計上	2) 農地の集積に向けた活動								3) 遊休農地の解消・発生防止活動（実施した回数）								4) 新規参入の促進活動（実施した回数）				備考	
		意向把握 の実施回数 2-①	話し合いの 参加回数 2-② オも含めて 計上	話し合いで務めた役割 (実施した回数)				関係機関 との打合 せの実施 回数 2-③	総会へ出 席して意 見を述べ た回数 2-④	利用状況 調査 3-①ア	利用状況 調査以外の 現地確認 3-①イ	訪問等による意向 把握 3-② アイウ	不明所有者等の探索 3-③ アイウ	農地所有者への営 農再開の確認 3-④ア	受け手への農地の 仲介・斡 旋 3-④イ	農地バンクへの情報 提供 3-④ウ	委員自ら 解消作業 3-④エ	基盤整備 に向けた活動 3-④オ	新規参入 者からの 相談対応 の有無 4-①	新規参入 者に対する 参入後の フォローアップ活動 4-②	新規参入 相談会への参加 4-③		新規参入 希望者に対する講習・意見 交換、その他の活動 4-④ 4-⑤
				コーディネーター (座長)を務めた ア	作成した 農地地図を持参 イ	自ら把握 した農地 情報を提供 ウ	参加の呼びかけ、 開催準備等 エ																
日	回	回																					
4月	193	13	54	5	1	13	10	16	0	0	16	1	2	2	3	0	5	0	0	5	0	3	4/6広報部会、最適化推進会議 4/11丹波地区連
5月	179	15	42	3	0	10	9	6	0	0	17	1	1	1	1	0	8	0	2	2	0	2	活動強化（東京把握）5/9丹波地区連 5/8広報部会、最適化推進会議
6月	185	10	55	5	0	14	13	3	0	3	17	0	0	1	1	1	7	0	0	2	0	3	6/6農地、広報部会、最適化推進会議 6/13丹波地区連
7月	212	7	44	6	0	6	13	12	0	16	12	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	2	7/7取組に推進会議、農地利用状況 調査説明会、農政部会7/12丹波地区 連、ア地域計画推進研究会
8月	194	9	38	3	0	9	10	9	0	15	17	0	0	0	0	0	2	0	0	3	2	5	8/1地域計画推進研修会、8/7広報部会、 農地部会、最適化推進会議8/8丹波地区 連、8/16新規参入促進研修会、8/30新規就 農者意見交換会
9月	183	8	53	4	1	5	16	11	0	5	13	0	0	1	1	0	3	0	2	0	0	0	活動強化（東京地図作成）9/19農政課 査、9/6広報、農地部会、9/丹波地区 連、9/28農地バト
10月	179	21	81	6	2	15	13	10	0	0	14	0	0	3	1	1	5	0	1	2	0	0	10/6最適化推進会議、広報部会 10/10丹波地区連 10/26、27管外現地調査（下呂市）
11月	190	12	64	3	2	7	15	11	4	2	16	0	0	0	2	0	7	0	2	2	0	0	活動強化（情報共有）11/14丹波地区連 11/6、8、21、29郡部会意見交換
12月	179	15	47	3	2	14	10	14	0	1	16	1	1	0	0	0	4	0	2	2	0	0	12/6最適化推進会議・農政、広報部会 12/12丹波地区連、12/18意見書
1月	185	17	55	4	1	10	14	18	0	0	16	0	0	1	1	0	3	0	2	4	0	0	活動強化（引継書作成、活動継続） 1/9農地、農政、広報部会、丹波地区連 1/17、18管外現地視察対応
2月	177	16	44	3	0	11	13	25	0	0	17	2	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	2/6最終総会、合同会議2/15宮津視察対 応、2/13新規任命式・総会・研修会 2/16委嘱式・会議・研修会
3月	190	15	49	6	3	12	9	25	0	0	13	1	1	0	3	1	0	0	0	4	1	0	3/6農地、農政、広報部会、最適化推進会議 3/21兵庫加古川農政視察研修
合計	2,246	158	626	51	12	126	145	160	4	42	184	6	5	12	14	3	47	0	13	27	3	15	

台帳面積 1569.21ha

8月18日 新規参入促進研修会 2人出席

(2) 成果目標の達成状況及び自己点検・評価の結果

① 成果目標の達成状況

	農地集積				遊休農地			新規参入
	農地面積	新規集積面積	集積面積	集積率	解消面積	前年度新規発生分の 解消面積	所有者等からの同意 を得た面積	
目標	682.82 ha	119.71 ha	242.40 ha	35.50 %	0.00 ha	0.68 ha	2.81 ha	
実績	682.82 ha	1.32 ha	113.33 ha	16.60 %	0.00 ha	0.58 ha	0.73 ha	
達成状況				46.75 %	100.0 %	85.29 %	25.98 %	

2 農業委員会による点検・評価

全体目標値

全体としての評価	総会で出された意見(第6期2/6・第7期5/8)
委員の最適化活動については、本会ならびに国の目標である10日に対して期待を上回る結果が得られた。 年間4回の活動強化月間の実施は全員達成とはならなかったが、新規参入相談会への参加目標は達成。農地集積と新規参入は、中山間と平地が混在する地域においても昨今の農情の影響を受け、期待を下回る結果となった。遊休農地解消においては、利用状況調査の徹底による農地台帳の整備が功を奏しほぼ期待通りの結果が得られたが、新規発生遊休農地の解消は、目標にわずかに届かなかった。	委員改選年度であったが、担当地区委員同士での引継ぎを行うなどスムーズな移行に努め、目標としていた活動日数を上回る結果が得られた。 後継者不足の問題は深刻で農地集積については、思うように進まない現状であることを痛感した。 今後の地域計画にかかる目標地図素案作成が最優先課題である。

② 自己の点検・評価

活動実績	成果実績
4～3月 活動日数 月平均 評価点 活動日数：2,246日：11.01日 14点	総評価点10点 実績 評価点 農地の集積（※新規集積面積：1.32ha）：113.33ha：1点 R3遊休農地【緑】解消のための目標、実績とも：0ha：5点 R4新規発生遊休農地の解消面積：0.58ha：1点 新規参入の促進（貸付意向確認含む）：0.73ha：1点 活動強化月間 4回うち4回実施 全体の達成率 8日以上～13日未満 全体で、59/68（86.76%）の達成率 4回達成者9人：1点 1回2人参加：1点

※ 最適化活動の実施状況や目標の達成状況を踏まえ、その結果を記入



⑨-1参考 委員会評価と公表

9

⑪京丹波町農業委員会「活動の見える化」 目指して

① 委員報酬の見直し **2割アップ**

(1) 実績(活動記録簿)による要望

(2) 第7期委員(R.6.2.11~)

年額200,000円→240,000円

役員報酬は別途(会長・職務代理)

★活動記録簿実績による「委員活動の見える化」の実践

→令和5年度目標達成 毎月10枚以上/全員

→令和6年度も継続中

★農地調査や委員活動(視察対応や遊休農地の草刈り活動等)実績に応じた手当等の支給

★最適化交付金活用による財源確保

★農業者年金加入推進活動

(1) 7月:京都府推進大会への参加

11月:長崎県での意見交換会参加

★京丹波町事例報告と委員への周知浸透

(2) 統括部長・推進部長による「**1委員1人以上の声かけ運動**」の実施

…地域計画:意向調査及び実現

(3) 新規加入者勧奨推進と拡大

1月現在で**6名新規加入あり**

(4) 第7期委員の研修会の実施

★農業委員(2/13)、推進委員(2/16)

京都府農年研修会への参加(7/18・19)

(5) 令和5年度

京都府加入推進表彰受賞

最優秀(団体賞・個人賞)

会長特別表彰(個人賞)

② 委員部会活動の推進と継続

～引継による新体制の確立～

(1) 農地部会(10名)

●農地利用状況調査(全筆)実施

★部会からの提案でスムーズな実施が可能に!

★地域計画:現況地図と連携した調査を計画!

(=意向調査含、地域の農家組合長等と連携)

●農地パトロールによる課題農地の確認と対応策の協議

●農地利用意向調査の実施

●非農地判断の実施(11月総会)など

(2) 農政部会(9名)

●農業政策にかかるアンケート実施

●意見書の作成と提出(R6.12.19)

●町部局との意見交換会実施など

(3) 広報部会(兼務6名)

●広報紙の作成発行

★令和6年=年3回の発行目標を達成

京都府農業委員会広報紙コンクール金賞

全国コンクール京都府代表として出席

★委員取材による写真と原稿の提出

委員による取りまとめ

=Wordにて作成(手作り)

★令和6年=年3回の発行目標を2/3達成

手づくりこだわりの部分は変化はなし

事務局…契約・編集・校正補助

③ 最適化活動の推進と継続

(1) 総会(審議)時間の短縮

★議案書提案部分の精査、事前質問の採用

(2) 地区連絡会の定期開催と細分化

★改選後の継続に向けたサポート強化

★地域計画ごとの開催=部会組織の発生

★部会組織定例開催の広がり

(3) 地域計画実現に向けて

★地域計画の進捗状況を全体会議で共有。委員間の連携・強化

★農地集積とヤミ小作の解消活動

…利用権設定等正式契約への誘導

★守るべき農地の耕作者確保に向けた地域での話合いの実施(調整)

(4) 非農地判断年度内実施の徹底

★11月6日第10回総会→41名全委員確認

1,211筆 364,417.53㎡ 台帳削除

★担当地区の非農地判断地の配布と確認

(4) 他委員会との意見交換会実施

令和5年度

京都府南丹市、石川県金沢市

熊本県氷川町、和歌山県白浜町

福井県小浜市、滋賀県東近江市

宮崎県川南町、兵庫県市川町

京都府宮津市、兵庫県加古川市

令和6年度

神奈川県大井町、島根県奥出雲町

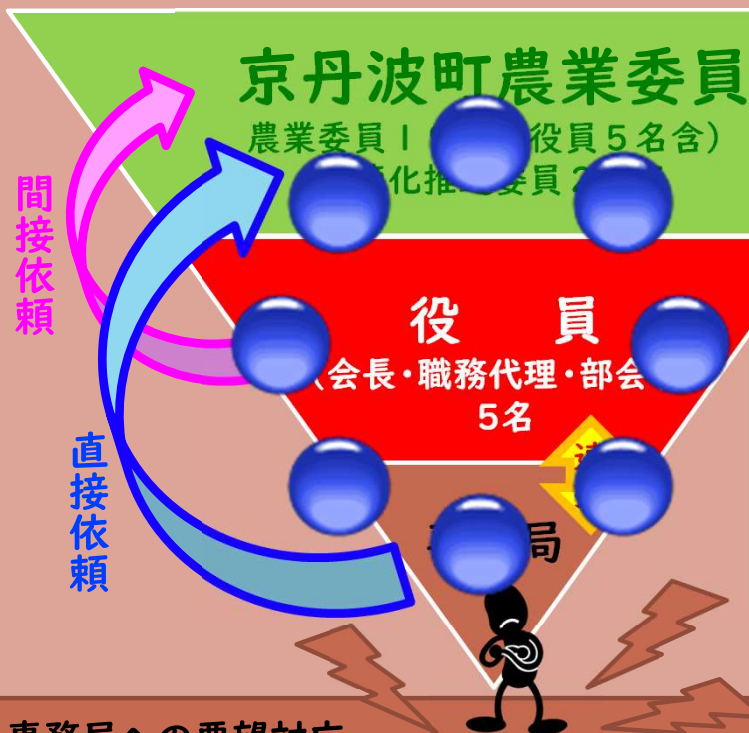
愛知県大府市、長崎県女性の会

熊本県山江村、全女シンポジウム

での登壇など



⑫事業遂行スムーズポイント～京丹波町秘密編



京丹波町版資料による委員全体説明会を開催
…終了後希望により地区別委員説明+個別委員説明
質問・要望・提案をじっくりキャッチボール
→委員負担軽減+できる方向への解決策を講じる
→資料は常時改善・改編

役員5人衆(屋台骨=超協【強】力耐震構造)
★事務局と委員の橋渡人…縁の上下の力持ち
会長(71)…統括・方向性・常設審議会
職務代理者(75)…会長補佐・農年加入推進統括
農地部会長(69)…利用状況調査・農年推進部長
農政部会長(79)…意見書・農業新聞普及推進
広報部会長(54)…広報全般・農業新聞普及推進

+ 町連携業務
(選出委員対応)

結果

事務局への要望対応

- 1.説明・報告のための資料づくり
- 2.会長と相談範囲をまず協議
- 3.決定した範囲の役員(会)で確認・共有…方向性の決定
事務局からの直接依頼か役員の前振り依頼+事務局説明かも調整
- 4.3で解決が難しい場合は、関係者を入れ再度確認・共有
- 5.役員以外の委員からの事業及びそれ以外の提案・要望**随時対応**

委員(対象もしくは全員)が判りやすく、受け入れやすいこと
→取組みやすい形を協議し、形(具体的)にする
→対応は、出来るだけ待たさず適期に返せるよう調整する

事務局への協議要望・提案・相談=信頼

- ◎情報・方向性の確認と共有
- ◎理解するための徹底説明又は報告
…**全委員共有目的の資料(素案)**による確認
=京丹波町版独自資料の作成
- ◎「ここまでしてくれたら…**あとはまかせとけ!**」

①
ア.最終京丹波町版独自資料の完成
=全委員への配布資料
→関連配布物・関係機関と調整
イ.配布時期と説明文の調製
★委員反応により改善再配布有



⑬京丹波町農業委員会の役員5人衆 本日の参加委員を紹介します！



山田 進
(やまだ すすむ)

会 長

統括、委員会方向性の決定、常設審議会

委員3期目

会長2期目

『京丹波町農業委員会』
が誇るダンディー会長

『農業委員会だより京丹波』
では教えて農地法のコーナーで人気上昇中

「言うべきことは、ワシが言う！」



川邊隆夫
(かわべ たかお)

職務代理者

会長補佐、農年加入推進統括

委員4期目

職務代理者2期目

『京丹波町農業委員会』
きってのあいさつまん

閉会のあいさつはこの人以外考えられません

和ませ上手なほっこり職務代理



松野堯俊
(まつの たかとし)

農政部会長

意見書、農業者の意見聴取、農政関連全般統括、農業新聞普及推進

委員3期目

農政部会長2期目

『京丹波町農業委員会』の司令塔、官房長官はこの人

行動力は役員一

長年の経験がヒカル語呂合わせに感銘



岩崎弘一
(いわさき ひろかず)

農地部会長

審査基準・農地利用状況調査・農地パトロール・農地関連全般統括・農年推進部長

委員4期目

農地部会長3期目

『京丹波町農業委員会』きっての説明マン

説得力は役員一

非農地判断実施の功績大



宇野栄晃
(うの ひであき)

広報部会長

広報・情宣全般、農業新聞普及推進

委員3期目

広報部会会長2期目

『京丹波町農業委員会』きっての広報マン

アイデアは役員一

広報入賞の立役者

『農業委員会だより京丹波』で「農業機械のハナシ」を大人気連載中
目指せ！日本一！！



みんな、シャイなんで、よろしくお願いします！





「京丹波町委員と 意見交換しよう！」

事務局2人で、本当にサポートできてるの？
前向きに取り組めている秘訣は？
地域計画の実現に向けて取り組んでることは？
京丹波町の女性委員さんの活動は積極的？・・・

などなど もしかしたら個人的な質問も大丈夫かも???
時間が足りなければ 一度京丹波に来てね!!!



⑭「農業者年金」は、男性だけでなく女性にこそ必要！

(妻) 少子化、老々介護、認知症発症…最後に頼れるものは自分自身！
(夫) 最愛の妻への贈り物＝安心 (…だけど妻の遺族厚生年金はもらえない)

ちょっと聞いて！

まさかの時は、誰にでも訪れるもの！！長寿社会と言われる現代！男性より長生きするのは女性？



ア.平均寿命と健康寿命

(1) 2022年厚生労働省発表 (2021年の数値)
平均寿命 81.47年 (男性)

87.57年 (女性)

2022年版高齢社会白書 (2019年の数値)

健康寿命 72.68歳 (男性)

75.38歳 (女性)

(2) 2024年度年金額

国民年金 満額1人分 68,000円/月

厚生年金 平均;夫婦2人分 230,000円/月

★「2022年家計と貯蓄に関する調査」

ゆうちょ財団実施による

65歳以上の高齢者世帯で公的年金で賄えると回答したのはわずか2割

2040年代の受給額は8割に減額

…推計値

★平均・健康寿命ともに長いのは女性
→できる範囲で資産形成が必要

京都府農業者年金キャラクター
「のうねんくん」もよろしくね！



イ.女性に多い3号被保険者

(1) 763万人といわれる3号被保険者
＝会社員に扶養される配偶者 (年収130万円未満)
年金額は、国民年金とほぼ同じ

64,816円/月

(2) おひとりさまになる確率が高い女性

① 夫の死亡による年金額は、当然減額。

夫の遺族厚生年金+妻の年金＝約14万円

② 生活費の支出は、半分にはならない

家賃を除く2人暮らしの生活費約24万円

1人になっても光熱費等で6割は必要。

また、年齢を重ねるごとに自身が介護を

受ける確率も上昇。長生きに備えること

ができる年金制度

ウ.遺族厚生年金 (夫婦ともに年金受給者)

遺族厚生年金が受給できない人もある!?

① 妻がなくなった場合の夫

② 夫婦ともに会社員 (正職員) で、年金を受給中にどちらかがなくなった場合の配偶者

③ 夫婦ともに国民年金のみの受給者で、年金を受給中にどちらかがなくなった場合の配偶者

エ.年金世帯の生活事情

農業者で世帯主が65歳以上の夫婦お二人の平均的な家計費は年額284万円 (月額約23.7万円)といわれています。

国民年金だけでは年額163万円 (6万8千円×2人で試算) ということは、年額121万円 (月額約10万円) 不足することになります。

★老後を安心して過ごすためには、年金を充実させておくことが大切です。

★年金はお一人おひとりが受け取るものなので、家族お一人おひとりが自分の年金を計画的に準備することが大切です。
つまり老後生活の安定には、農業者年金への夫婦加入がお勧めです。

農業者年金の受給額試算で計画できます。

農業者年金基金のホームページで

① 「農年」と入力して 検索する

② 「年金シュミレーター」をクリック

必要事項を入力すると年金額の試算結果が確認できます。スマホやPCでok!!

徒然なるままに…女性委員(女性局員)って特別なん?

女性委員(事務局員)登用について

◎国の女性委員の登用調査は、なぜか農業委員のみ!?

→毎回納得できない永武です。

事務局までは無理でも推進委員さんは、登用数に入れて当然では!

★京丹波町の女性委員さんのご意見聞いてみました

「私は農業委員はやりたくない、地域に密着する推進委員ならやりたいと思い今回も応募した。」

「選挙の時代に農業委員への投票について夫には頼みに来られたが横にいた私には何の声かけもなかった。いまだに忘れられず、農業は男の世界と思う。」

「女性が事務局長にと聞いたときは驚いたけど、なんの問題もなくむしろ何でも話せて対応も早くなった。」

◎視点の違い…男性とは違うと思うけど女性(同性)間でも違う。→異なる見解や意見は必要。

◎女性の登用を促進する(意識づけ)ことは大切。

◎性別を理由に地域での推薦を受けにくいとか登用しないことは問題。

委員も事務局も性別は関係ない!と実は永武思っています

適材適所でやる気があればそれが最高!

女性でも男性でもできること、できないこと個人、それぞれ異なったりまえ。女性だからとむしろ特別のように言わないで!

実績のない私が全国職員協議会会長に互選されたのも、たまたま女性登用が叫ばれた現在だからこそ。でも、重責を担った甲斐はあった。

機会があった各所でお知り合いになった女性局員や若手局員から悩みや頑張るメール、手紙をいただけること…。

何かしらお役に立って退任したいと思っています。

名前 永武幸子 (ながたけ さちこ)

府県名 京都府
所属等 京丹波町
農業委員会
事務局専門幹



略歴等

平成31年4月~京丹波町農業委員会
事務局長着任

令和 3年4月~京都府農業委員会等
職員研究会 会長選任

令和 5年8月~全国農業委員会職員
等職員協議会 会長選任

令和 6年4月~京丹波町農業委員会
専門幹

令和 6年11月~農業者年金広域推進協力員

基本理念

「事務局が理解できないことは、委員はさらに理解できない。」

意外?な経歴

ず~っと公務員(年齢それなり)なので、いろいろ経験しました! 住民課(窓口・戸籍・住民)、病院薬局事務、歯科診療所、教育委員会(社会教育・文化財)★国民文化祭担当(H23) ケーブルテレビ(MC・カメラマン) 産業振興課(農業・土地改良区) 支所(確定申告・年金・施設管理)

令和6年度目標

①農業者年金加入推進

京丹波町の農業者で農業者年金を知らない人を無くすこと。

加入者数(3名)目標達成すること→6名新規加入達成♥

町内外に関わらず加入推進していく→達成♥

②地域計画策定に向けた目標地図素案の全地域完成→ほぼ達成♥

③最適化活動のサポート業務

「活動記録簿」の記入と「委員活動」

→京丹波町版資料の改訂と配布、会議での振返りを実施

「委員活動見える化」の発信→広報発行・視察等意見交換会の実施

特記事項

全国で最もシニア事務局に在籍

コミュニケーション力…常時発信中

→特に犬には好かれてます♥

京都府登録手話通訳者、京都府登録要約筆記奉仕員

「民間歴何年ですか?」なぜか毎回聞かれます(笑)

